

2014 春の教育普及プログラム 0歳からの家族鑑賞会 赤ちゃんとお「絵のおさんぽかい」の様子



6月の初め、講師にアートケアひろばの会長である富田めぐみさんをお招きして、赤ちゃんとお家族のための鑑賞会を実施しました。今回は「井上安治生誕150年記念 絵師たちの視線—安治・清親・光逸—」展の関連プログラムとして、明治時代の風景木版画の作品を鑑賞しました。始めに、保護者の方に向けてお子さんへの声かけや鑑賞についての話があった後、展示室へ。展示室では、月や雪や馬などの見慣れた物が描かれた作品や、鮮やかな赤色で火事の様子が描かれた作品などに、多くの子が興味をもっていました。鑑賞後は、講師から赤ちゃんの発達についての話と学芸員から展覧会についての説明があり、その間、子どもたちはクレヨンや折り紙を使っての制作を行いました。鑑賞後すぐということもあり、絵にあった風景をまねて制作する子が多くみられました。また、今回の展覧会に合わせて、講師考案のもとに制作をした「おさんぽボード」(*1)を使って遊ぶ子もいました。アンケートでは、「まだ(絵は)分からないかなと思っていただけ、思っていたより、じっと見たり、足をバタバタさせていた」「周りの子や大人をきょろきょろと観察した後、気に入った絵の前で手を伸ばしたり、あーうー、と話をしていた」など、お子さんの新たな一面を発見したという意見が寄せられました。

- 実施日 ①平成26年6月1日(日) 14:00～15:00、②6月3日(火) 10:30～11:30
- 講師 富田めぐみ(アートケアひろば会長)
- 対象 ①0歳以上(おもに園児・小学生とその保護者)、②0歳以上(おもに未就園児とその保護者)
- 参加者 ①12組32名、②14組28名



ご家族で参加の皆さん



美術館でのお約束の確認



お月さまがあるよー!



子どもの成長についてのお話



鑑賞後の制作物



「おさんぽボード」でつくったお話を披露

● 講師プロフィール

富田めぐみ氏(とみためぐみ)(アートケアひろば会長)

1992年 東京女子大学心理学科卒。乳児からお年寄りまで幅広い層への表現によるメンタルケアを実践。2003年より芸術による子育てサポート「アートケア・ワーク」を展開。その蓄積から、「乳幼児鑑賞プログラム」を開発し、2012年 茅ヶ崎市美術館にて初めて開催され、各地で注目を集めている。茅ヶ崎市「2歳児子育て教室」、平塚市美術館「赤ちゃんアート」など講座多数。

*1「おさんぽボード」・・・展示されている風景画のカードを、ボードの上で並べ替えて散歩コースを作るという鑑賞ツール。散歩コースに合わせたお話をしたりと、会期中に多くの子が楽しんでくれました。